

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1 DP2 DP3		
	精神看護学			担当教員	外部講師 専任(基幹)教員		
	こころの健康と看護						
履修学年	1年	履修学期	後期	単位数	2	時間数	36
	1. その人らしさが創られるこころの仕組みと認識過程が解る。 2. こころを病むということ、生きづらさ、生きにくさの意味が解かる。 3. 精神を病む人の特性と症状を知り、援助に向かう人間関係のプロセスが解る。 4. 精神障がい者の人権を擁護した自律を支援する環境と制度が解る。 5. その人がより良く生きていく為の、精神看護と看護師の役割が解る。						
回	学習内容					方法	担当教員
1～9	1) 精神を病む人の生きづらさと生きにくさ (1) 精神障がいをもつ人の病の体験と精神看護 (2) 心のケアと日本社会 (3) 精神看護の課題					講義 演習	専任(基幹)教員
	2) 精神保健の考え方 (1) 精神の健康とは (2) 精神保健の危機とソーシャルサポート (3) ストレス反応とレジリエンス (4) 精神障害の捉え方 (ICF・予防精神保健)					講義	
	3) こころの働きと人格の形成 (1) こころの働きと認識過程 (2) こころの仕組みと人格の発達						
	4) 関係の中の人間関係 (1) 家族のあり様や精神障害者を身内に持つ家族の現状と支援 (2) システムとしての人間関係・全体としての家族 (3) 人間と集団 (集団と自己・グループの活用・全体としてのグループ)					講義	
	5) 精神を病む人の特性と症状 (1) 精神を病むことと生きること (2) 精神症状論と状態像・理解への手がかり (3) 様々な精神症状					講義	
	6) ケアの人間関係、精神を病む人への看護援助の基本 (1) ケアの原則 (2) ケアの方法 (3) 援助的人間関係 (4) 患者-看護師関係 関係をアセスメントするプロセスレコード・ロールプレイ (5) 関係で起こること 自己理解と他者理解 (6) トラベルビーノペプロウ					講義 演習	
	7) P/F課題「地域で暮らす全ての人の精神保健を支える精神看護」 (1) 導入及び、精神看護の場と職種					講義	
10 11	(2) 社会の中の精神障害と人権 ①精神障害と治療の歴史②日本における精神医・精神医療の流れ ③精神障害と文化④精神障害と社会学 スティグマ ⑤精神障害と法制度 ⑥おもな精神保健医療福祉対策とその動向					講義	外部講師
12～17	(3) 精神の健康に関する普及継発 ①こころのバリアフリー宣言・健康日本21 ②地域におけるケアの方法と実際 ③精神障害者に対応する地域包括ケアシステムの構築					講義	専任(基幹)教員
	(4) まとめ・発表					演習	
	8) メンタルヘルスと看護、看護師の役割					講義	
18	試験					試験	
評価規準 評価方法	P/F課題、レポート、筆記試験 100点						
テキストおよび 参考文献	専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 (医学書院)						
履修上の注 意点							